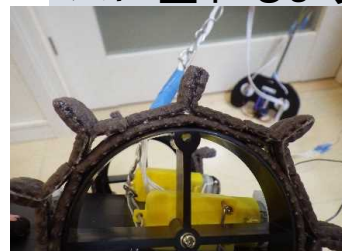


1度の動きでサイコロの面を2度変えるロボット、「NEKO名人」



特徴② 軽くて大きいタイヤを作り、滑り止めを加工して段差をスムーズに登れるようにした。



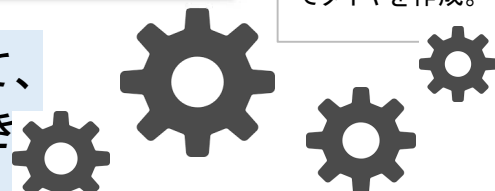
丸い形の建築資材をホイールにし、滑り止めマットを切つてタイヤを作成。



さらに滑り止めマットを小さく切ったものをホットキスを使って凸型にし、8個ずつタイヤに張り付けた。こうしてタイヤに凹凸をつけたことで段差がスムーズに登れるようになった。



特徴① 2種類のケーブルバンドを使って、サイコロの目を変える。しかも、1度の動きで、2面変えられるように工夫した。



①車体の前方下部分につけたバンドで、サイコロをつかみ、バックしてひっくり返す。

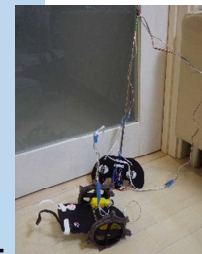
膨らませてバンドをつけることで、サイコロをつかみやすくなった。



②続けてバックすると車体の上部分につけたバンド(猫の手)がまたサイコロをつかみ、ひっくり返す。

猫の手を曲げて絶妙な角度にすることで、サイコロをしっかり押さえて転がせるようにした

特徴③ コントローラーはプラダンでゲームコントローラー風に作成。差し棒をつけて、線がからまりにくくすることで操作性を良くした。



特徴④ お金をかけずに工夫する

材料はほとんど100円ショップでそろえた。建築資材もホームセンターでほぼ100円。お金をかけずに身近なもので作った。

ケーブルバンドも、タイヤも、つける場所を何度も変えながら、一番いい場所を見つけるまでに何回もやり直した。

